

おいしいは、やさしい ～環境にやさしい資源循環型生産の取組事例～

株式会社みすずコーポレーション (食料品製造)



- ◆ (株)みすずコーポレーションは、食の安全と安心のため、いち早くISO9001を取得するなど徹底した品質管理に取り組む一方、自然に恵まれた信州に根ざす企業として、また、企業の社会的責任を果たすべく、「環境経営方針」を明確化し、「資源循環型生産」と「環境負荷の軽減活動」に全社的に取り組み、成果をあげている。
- ◆ 毎年「環境経営レポート」を公表。企業のゼロエミッションを目指し、取組をスパイラルアップ。

事例1 工場排水からバイオマス発電

凍り豆腐、油揚げ等の製造使用後の排水を活用できないか。

使用後の水を処理する際に発生するメタンガスをガスホルダーに貯留し、バイオマス発電を実現。



バイオマス発電設備

【取組の効果】

一般家庭で約330軒分の発電能力を持ち、発電した電気を地域の電力会社に供給。

事例2 植物性廃油の再利用

油揚げ用の油は、一定時間使用後、廃油として処理されてしまうが、活用できないか。

廃油を重油代替燃料として、ボイラーやおから乾燥機に再利用。



おから乾燥機

【取組の効果】

燃料使用量を大幅に削減。各種酸化物や二酸化炭素の発生量も抑制され、地球温暖化防止に貢献。



乾燥おから

株式会社みすずコーポレーションの概要

○本社所在地 長野県長野市

○代表取締役 塚田 裕一

○事業内容

・凍り豆腐、油揚げ及び味付け油揚げ等の研究開発、製造及び販売

・再生可能エネルギーによる発電・販売

○従業員数 959名 (2020年3月末現在)



事例3 汚泥の有効利用

排水処理過程で発生する汚泥を活用できないか。

汚泥には植物の生育に必要な有機物が豊富に含まれていることに着目。発生した汚泥は乾燥させ菌体肥料として有効活用。

【取組の効果】

堆肥は肥料会社に販売し、資源を再活用。



汚泥乾燥設備



乾燥汚泥